
送信者認証技術 (SPF・SenderID・DomainKeys) の導入における 推奨事項 (英文 & 和文) 公開のご案内

Sendmail 社は、実環境への適用シナリオをもとにした長時間にわたる試験を実施し、昨年来話題になっている新しい電子メールの送信者認証技術のインターネット電子メールサイトへの導入方法についての「送信者認証技術の導入における推奨事項」(導入手引き)を作成し、Web で公開しています。

これは、IP ベース認証方式の「SPF」「Sender ID」、暗号化ベースの「DomainKeys」の概要、既存のインターネット技術との整合性、送信者・受信者・中継点における推奨事項などから構成されます。

和文 http://www.sendmail.net/tools/Sendmail_Auth_Reco_wp_jp.pdf (pdf)
http://www.sendmail.com/jp/support/Sendmail_Auth_Reco_wp.html(html)
英文 http://www.sendmail.net/tools/Sendmail_Auth_Reco_wp.pdf

送信者認証技術の目的は、いまだに自由に送信者を名乗ってメールを送信することを許してしまう、基本的に匿名の通信である電子メール通信に責任確認についてのレイヤを加えるというものです。

単純に誰がそのメッセージを送信したかという情報だけでは、そのメッセージがスパムかそうでないかを判断するのに充分ではありません。メッセージの送信元についての信頼性の高い情報が、メッセージを無条件に受け取る、フィルタ処理する、またその場で受信拒否するなどの、アクションを自動的に決定するときに非常に重要なツールになります。

「送信者認証技術の導入における推奨事項」では、Sendmail の送信者と受信者のそれぞれに、いつ電子メール送信者認証を扱うべきかという推奨事項とともに、ソフトウェアやウィザードや試験のリソースなどへのリンクを末尾のページに紹介します。

送信者認証技術の最新の情報は、<http://sendmail.net/> にアクセスしてください。

「送信者認証技術の導入における推奨事項」の主な内容

標準の概要

IP ベース認証方式 - SPF と Sender ID
暗号化ベースの方式 - DomainKeys

既存のインターネットと送信者認証

メールの転送 / メーリングリスト / セカンダリのメールバックアップ

送信者への推奨事項

送信者認証への準備

アウトバウンドでの配送の集中化

サードパーティの送信者の把握と協力
アウトバウンドメールの認証

受信者への推奨事項

複数の認証情報の利用
既知の送信者の許可リストと成功した認証結果の利用
認証失敗したメールの扱い
認証失敗したメッセージのフィルタリングの結果
SMTP での応答

中継点での推奨事項

メールの転送
メーリングリスト
急速な利用拡大と望まれる変化

リソース

プロトコル情報
ソフトウェアダウンロード
レコードのウィザード
テストツール

本件に関するお問い合わせ先

SENDMAIL株式会社
担当: 中村 悦子
TEL: 03-5537-0367 FAX: 03-5537-0376
marketing-japan@sendmail.com

【添付資料】

SENDMAIL「Mailstream Anti-spam Solution」について

Sendmail Mailstream Anti-spam Solution は、3 階層から構成され、確度の高いスパム対策を講じながら、有用なメールまで損失してしまうリスクを防止する画期的なスパム対策ソリューションで、ISP クラスのパフォーマンスと信頼性を提供します。

まず、システムレベル制御フィルタ「FlowControl Filter」により、メールゲートウェイで送受信するメール流量を監視・制御し、スパムメール、DoS(サービス停止)攻撃などの予期せぬメール流量の増加からネットワーク資源を守る。

次に、スパム検出フィルタ「Anti-Spam Filter」で、スパムと想定されるメールを 0～100%のレーティングにより格付けする。同フィルタは、言語に依存せず、全世界 100 万人を超えるユーザからのスパムに関するレポートに基づきメールの特徴を解析し、スパムかどうかの判定を行う。

最後に、その格付けを基に、ユーザ制御フィルタ「Intelligent Inbox」により受信拒否、隔離などのアクションを設定する。「Intelligent Inbox」はサーバサイドフィルタであり、会社のポリシーに基づくシステム管理者による全体設定はもちろん、メール受信者が個々の基準で簡単かつ柔軟に設定できるのが特長。

ドリーム・アーツ「INSUITE®Enterprise: インスイート・エンタープライズ」について

<http://www.insuite.jp/index.html>

一切のプログラミング無しで社内のイントラネット・システムや外部のウェブ・システムの情報をブラウザ上にポートレット化して表示できる、「ノン・プログラミング EIP」機能を有するポータル構築ソフトウェアです。ブラウザに表示されるポータルの情報は部門や職務に応じて自動的に設定され、ログインする利用者に応じて最適な情報や e サービスへのアクセスを可能にします。利用者は異なるシステム或いはサイト上の必要なページの必要な部分のみを一括して利用することができます。また、強力なシングルサインオン機能により、情報アクセスに必要な複数の ID、パスワードを集約し、情報や e サービスへのアクセスをより簡易にすることも可能です。さらに、本格的エンタープライズレベルのスケジュール管理、ドキュメント共有、アクセスコントロール対応型の全文検索エンジン等の強力なグループウェア機能により役職・職種を問わず全ての IT ユーザの情報共有とコミュニケーションの円滑化を実現します。

連携イメージ

